教科名	音楽	科目名	音楽	履修学年	中学	1年	全	組			
単位数	1.5	使用教科書 補助教材等	中学生の音楽1(教育芸術社)								
担当者	鈴木 純		しのぶえ(日音)								
学習目標	楽譜に親しむ。声を出して合わせることの楽しみを知る。。										
評価方法											
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢					
評価規準	楽譜の内容を知る 修得した楽譜の知識を用いてリズム創作をする 正確な発音を心がけ前向きな発声を試みる 篠笛の基本奏法を学ぶ		楽譜のリズムを表現する 曲にあった表現を試みる			各事項に置いて自主的に取り組むことができる					
各観点の授業内 評価方法等	実技テスト 課題提出		実技テスト			授業内発表					
学期末の 各観点比率(%)	60%		30%			10%					
授業計画											
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2		
1	4	校歌	愛校心を培う 歌詞の内容を味わいながら表現することができる					2	実技試験	課題提出	
	5	楽典	楽譜上に書いてある事項を知る 音部記号意味および書き方 付点のない音符の表現					5			
		We'll find The Way	新たな気持ちを歌に表す					5			
	6	器楽	篠笛の基本奏法ができる					4			
	7	楽典	付点音符の表現 休符の仕組みを知る 拍子記号の理解								5
		主人は冷たい土の中に	世界中で歌われている親しみのあるある歌を味わう								4
8	器楽	出る音を使って曲を演奏してみる					2				
	鑑賞「春」	弦楽器の仕組みを知る 季節を表現した曲を味わう									
2	9	赤とんぼ	日本音楽の理解 歌詞の内容を味わいながら表現					2	実技試験	筆記テスト	
	10	器楽	たこたこ上がれ・ほたるこいの演奏					4			
		楽典	4/4拍子のリズムを創作し表現する					4			
	11	君をのせて	親しみのあるメロディの合唱を味わう					4			
	12	鑑賞「モルダウ」	オーケストラの響きを味わう オーケストラの響きを味わう 編成を知る 民族主義の表現内容を知る					3			
3	1	旅立ちの日に	卒業式に向けての練習					5	実技試験		
	2	器楽	「ひらいたひらいた」を演奏できるようにする					3			
	3										

教科名	音楽	科目名	音楽	履修学年	中学	2年	全	組	
単位数	1	使用教科書 補助教材等	中学生の音楽2・3上(教育芸術社)						
担当者	岩城明								
学習目標	アンサンブル能力を養う。外国語の感性を学習する。日本音楽の表現に親しむ。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	日本の曲や海外の曲に触れる 表現をするための技術を身につける		日本音楽と海外の曲の表現の違いを知る			各事項に置いて自主的に取り組むことができる			
各観点の授業内 評価方法等	実技テスト 課題提出		実技テスト			授業内発表			
学期末の 各観点比率(%)	60%		30%			10%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	夏の思い出	同声二重唱の響きを味わう 日本語の季節表現を知る			5	歌唱 試験	課題 提出	
	5								
	6	鑑賞「フーガト短調」 リズムアンサンブル	二重奏						3
	7				3				
2	8								
	9	手紙	混声合唱の響きを味わう			4	実技 試験	課題 提出	
	10	リズムアンサンブル	三重奏						4
	11	鑑賞「モルダウ」	オーケストラの響きを味わう オーケストラの響きを味わう 編成を知る 民族主義の表現内容を知る						3
12									
3	1	サンタルチア	イタリア語の曲に触れ表現方法を考える			5	実技 試験		
	2	旅立ちの日に	卒業式に向けての練習						4
	3								

教科名	音楽	科目名	音楽	履修学年	中学	3年	全	組	
単位数	1	使用教科書 補助教材等	中学生の音楽2・3下						
担当者	岩城明								
学習目標	一歩進んだアンサンブル能力を養い外国語の感性を学習する。日本音楽の表現に親しむ。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	楽曲の種類を知る 一歩踏み込んだ表現をするための技術を身につける		日本音楽の表現を知る			各事項に置いて自主的に取り組むことができる			
各観点の授業内 評価方法等	実技テスト		実技テスト			授業内発表			
学期末の 各観点比率(%)	60%		30%			10%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	花	同声二重唱の響きを味わう 日本語の季節表現を知る			5	歌唱試験		
	5								
	6	夏は来ぬ	季節を感じ取り日本語の表現の工夫をする						
	7								
	8								
2	9	大地讃頌	混声合唱の響きに触れる 歌詞の内容を考え自身の将来に向かっての展望を考える			8	実技試験	筆記テスト	
	10								
	11	鑑賞「交響曲第5番 運命」	オーケストラの響きを味わう 交響曲の構成を知る						
	12								
3	1	鑑賞「越天楽」	日本の楽曲を味わう 雅楽の構成を学ぶ			2	実技試験	筆記テスト	
	2	春に	混声合唱における表現の工夫						
	3	旅立ちの日に	卒業式に向けての練習						